

氏名	須永 康代	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	生体運動学, ウィメンズヘルス理学療法学				
学位	博士（保健学）				
学歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科卒業、2011年広島大学大学院保健学研究科心身機能生活制御科学講座博士課程前期修了、2018年広島大学大学院保健学研究科心身機能生活制御科学講座博士課程後期修了				
経歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助手、2010年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教、2020年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科准教授				
所属学会（役職）	日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会（総務担当理事）、埼玉県理学療法士会 ウィメンズヘルス推進委員会（副委員長）、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会（学術集会企画運営委員、評議員）、専門リハビリテーション研究会（学術編集部長）、日本母性衛生学会、臨床歩行分析研究会、日本女性骨盤底医学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	【チームで取り組む 自立支援・重度化防止に向けた科学的介護の実践例】尿失禁のメカニズムとケア	単著	なし		介護人財, 21(3), 21-26	須永康代	2024年7月
2	女性の健康課題解決のための理学療法	単著	なし		日本理学療法士協会雑誌Up to date, 2(3), 113-116	須永康代	2024年8月
3	Lower limb biomechanics and control of center of mass during turning phases in daily gait	共著	あり	○	Journal of Electromyography and Kinesiology, 80	Riku Kawabata, Moeka Yokoyama, Yuka Matsumoto, Keisuke Kubota, Sachiko Kosuge, Yasuyo Sunaga, Naohiko Kanemura	2025年2月
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	産前・産後からはじまる女性の健康寿命延伸にむけた健康支援	単独	第12回日本運動器理学療法学会学術大会, 横浜市		○須永康代		2024年9月
2	妊産婦の身体運動をバイオメカニクスから紐解く	単独	第10回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会, 川崎市		○須永康代		2024年10月
3	本邦における帝王切開後の理学療法の有用性 スコーピングレビュー	共同	第10回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会, 川崎市		○須永康代, 森明子, 平元奈津子		2024年10月
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	産前産後の運動とバイオメカニクス	単独	第1回PPN (Pre Post-natal) シンポジウム, 墨田区		○須永康代		2024年9月

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科研費基盤（C）	産後の姿勢制御因子の動態に関する腹筋群における質的・機能的変化の実態解明	研究代表者	2023.4-2025.3
2	埼玉県立大学奨励研究（A）	異なる筋収縮形態での腹筋群の収縮動態と腹直筋白線の変化	研究代表者	2023.4-2025.3
3	日本理学療法学会連合 診療報酬改定等に資するエビデンス構築研究	妊産婦の腰背部痛・骨盤帯痛に対する理学療法の効果検証	研究代表者（日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会担当者）	2024.6-現在
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	発達障害理学療法学	○	3	運動発達や動作の発達について画像や動画を活用して講義を行った。
2	神経障害理学療法学	○	3	神経疾患とその理学療法について画像や動画を活用して講義を行った。
3	理学療法応用技術学B（予防・産業）	○	8	産業保健における健康問題について、グループワークを交えて講義を行った。
4	ウィメンズヘルス理学療法学	○	8	女性のライフサイクルにおける変化と特徴的な疾患についての講義と理学療法評価・治療に関する実技を行った。さらに文献抄読を通して理解を深めた。
5	障害予防学特論		4	女性における機能障害評価とその予防について、最近の研究報告をもとに講義を行った。
6	理学療法症候障害論		1	女性特有の疾患・障害に関わる評価と理学療法について、最新の知見を交えて講義を行った。
7	リハビリテーション教育学Ⅱ		1	臨床教育実習前後における教育評価とその目的について、CBTやOSCEの近年の動向を踏まえた講義を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	理学療法研究法演習		0.5	ウィメンズヘルス理学療法領域の研究について紹介し、最新の情報を提供できるよう工夫した。
2	理学療法セミナー（OSCE1）		8	臨床教育実習に向けた問診や医療面接技術を習得できるよう、客観的臨床能力試験（OSCE）における評価・フィードバックを行った。
3	理学療法セミナー（OSCE2）		8	臨床教育実習に向けた理学療法評価やプログラム立案・実施について習得できるよう、客観的臨床能力試験（OSCE）における評価・フィードバックを行った。
4	理学療法特別演習		0.5	人間発達学・小児理学療法分野における国家試験の過去の出題傾向をふまえた演習を行い、国家試験に向けたサポートを行った。
5	理学療法症候障害演習		2	女性特有の疾患・障害に関わる評価と理学療法について、研究論文の検索とレビューを通して理解を深めた。

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	運動学実習		20	歩行分析、筋活動について、実習を通して手法を学び、生じた結果に対する考察により理解を深めるよう指導を行った。
2	発達障害理学療法学実習		5	正常発達、発達障害児における理学療法評価およびアプローチの実践について授業を行い、理解を深めた。
3	神経障害理学療法学実習		4	脊髄損傷の理学療法について、動画を用いて概説しながら実習を行い、理解を深めた。
4	臨床教育実習Ⅰ		2025.2.17- 2025.3.2	2年次生を対象に2週間の検査・測定実習を実施した。実習中は実習指導者との状況確認を行い、実習後は学生の報告をもとにフィードバックを行った。
5	臨床教育実習Ⅱ		2024.9.23- 2024.10.26	3年次生を対象に5週間の評価実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。
6	臨床教育実習Ⅲ		2024.4.15- 2024.6.18	4年次生を対象に8週間の臨床実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。
7	臨床教育実習Ⅳ		2024.6.24- 2024.7.27	4年次生を対象に5週間の地域/特定領域実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。
8	IPW実習		2024.9.30- 2024.10.3	4年次全学学生5名とともに3日間の実習に同行し、対象者や病院スタッフへのインタビューやグループディスカッションが円滑に行えるよう支援を行った。最終日には学内での報告会を通して指導・フィードバックを行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4-2024.12	主指導 1名	副指導 0名
2	修士論文	2024.4-2025.3	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 3名
3	博士論文	2024.4-2025.3	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	ゼミ担当	2024.4-2025.3	1～4年次生を対象にゼミ活動を通して学生間の交流を図ることができた。3・4年次のゼミ生には、卒業研究に向けた研究指導を行った。	
2	東京有明医療大学 非常勤講師	2024.5 2024.10- 2024.11	東京有明医療大学の非常勤講師としてリハビリテーション医学Ⅰを2コマ、リハビリテーション医学Ⅱを2コマ、リハビリテーション医学実習を2コマ担当した。	
3	早稲田医療技術専門学校 非常勤講師	2024.6	早稲田医療技術専門学校の健康教育技術論を非常勤講師として2コマ担当した。	
4	春日部市立看護専門学校 非常勤講師	2024.9	春日部市立看護専門学校の解剖生理学Ⅱを非常勤講師として2コマ担当した。	

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	川口さくら病院 勉強会	川口さくら病院	骨盤底の機能解剖	2024.7
2	埼玉県立大学 理学療法学科臨床実習受け入れ施設対象講習会	埼玉県立大学 理学療法学科	ウィメンズヘルス理学療法の基礎と実践	2024.8
3	埼玉県理学療法士会 研修会	ウィメンズヘルス推進委員会	骨盤底機能における理学療法評価と実践	2024.8
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会	一般社団法人日本理学療法学会連合総務委員会委員，研究会総務担当理事	2021.6-現在	
2	日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会	第10回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会 副学術大会長	2023.5-現在	
3	日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会	第11回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会 学術大会長	2024.4-現在	
4	埼玉県理学療法士会	ウィメンズヘルス推進委員会 副委員長	2023.4-現在	
5	日本母性衛生学会	査読員	2019.4-現在	
6	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事	2021.4-現在	
7	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	第15回学術集会企画運営委員	2024.4-2025.3	
8	専門リハビリテーション研究会	学術編集部部长	2022.4-現在	
9	草加市男女共同参画専門委員	委員	2023.2-現在	
10	社会福祉法人みんなぞ	評議員	2020.4-現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員	2024.4-2025.3	
2	全学的委員会及びセンター業務等	大学院 学生支援委員	2024.4-2025.3	
3	大学広報活動	オープンキャンパス	2024.8	
4	学生支援	理学療法学科実習教育検討部会 実習指導者会議保健担当	2024.4-2025.3	
5	学生支援	理学療法学科学生支援部会 学生就学支援担当	2024.4-2025.3	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			